

昭和14年頃の配置図



揚輝荘小史

- 大正 7年 (1918) 「三賞亭」茶屋町本家から移築
「揚輝荘」と名づける
- 8年 (1919) 「揚輝荘座敷」矢場町五ノ切から移築改修
この頃から茶会、園遊会、運動会をたびたび開催
- 11年 (1922) 「有芳軒」徳川邸から移築
- 12年 (1923) この頃から皇族、華族、文化人などの来荘、宿泊頻繁
- 昭和 4年 (1929) 「伴華楼」徳川家から移築、洋室新築
- 5年 (1930) 「暮雪庵」本家から移築
- 9年 (1934) 祐民インドなど仏跡巡拝の旅
- 11年 (1936) 初の「外国人留学生」タイから迎え入れ
- 12年 (1937) 「栗廼家」移築・「聴松閣」「サンタール」新築
- 15年 (1940) (祐民茶屋町本邸で永眠)「治助」追悼茶会
- 20年 (1945) 空襲で建物の多くを滅失
「聴松閣」米軍司令官用宿舎として接收
- 27年 (1952) 米軍接收返還
- 29年 (1954) 松坂屋の社員寮(一部) (~1990年)
- 平成 19年 (2007) 名古屋市に寄附、暫定公開開始
- 20年 (2008) 「聴松閣」「揚輝荘座敷」「伴華楼」「三賞亭」
「白雲橋」名古屋市指定有形文化財に指定
- 25年 (2013) 「聴松閣」開館

揚輝荘

YOKISO

開園時間 午前9時30分～午後4時30分
(貸室は午後8時まで使用可)

休園日 月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)

入場料 南園: 一般 300円 (20名以上の団体240円)
(聴松閣) 定期観覧券 1,200円 中学生以下無料
※その他各種割引があります。
北園: 無料

貸室 南園: 多目的室(夜間のみ)・集会室
(聴松閣) ※料金等詳細についてはお問合せください。

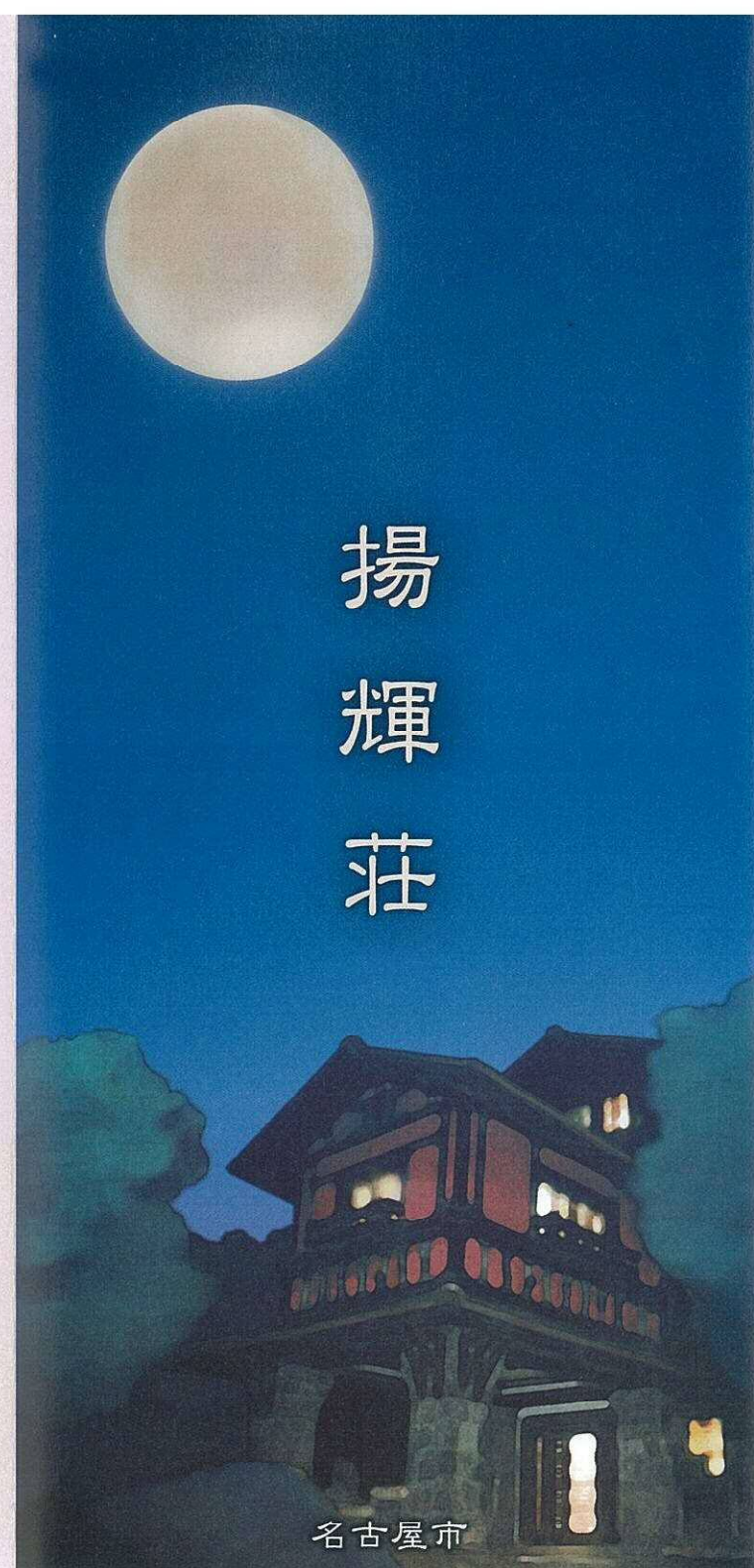
お問合せ 〒464-0057 名古屋市千種区法王町 2-5-17
TEL 052-759-4450 FAX 052-759-4451
E-mail info@yokiso.org
URL http://www.yokiso.jp



地下鉄東山線「覚王山」①番出口から北へ徒歩約10分
※揚輝荘に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

2019.8.40,000

揚輝荘



名古屋市



いとうじろ ざえもんすけたみ
伊藤次郎左衛門祐民



留學生たち

揚輝荘は、大正から昭和初期にかけて閑松坂屋の初代社長伊藤次郎左衛門祐民によって構築された別邸です。完成時(昭和14年頃)には、約一万坪の敷地の中に三十数棟の各種建造物が建ち、池泉回遊式庭園とともに、覚王山の高台に威容を誇っていました。

かつては、各界の要人や文化人が往来する迎賓館、社交場として華やき、アジアの留学生が寄宿して国際的なコミュニティを形成した場所でもありました。

その後、世の移ろいを経て残された歴史的建造物と庭園は今や市民共有の貴重な財産となっています。これら全体の本格公開を目指して順次修復整備を行っています。

平成25年には聴松閣の修復整備工事が完了し、地域の歴史・文化を伝える施設として新たにオープンしました。

イベントの様子



北庭園コンサート



聴松閣地階コンサート



伴華楼

昭和4年、鈴木禎次の設計により尾張徳川家ゆかりの座敷に洋室等を加えて建築されました。



白雲橋

修学院離宮の千歳橋を模したといわれる廊橋で北庭園のシンボルです。龍の天井絵、手彫りの白木擬宝珠などに趣向が凝らしてあります。



三賞亭

大正7年、茶屋町(現中区丸の内二丁目)の伊藤家本宅から移築された揚輝荘最初の建物です。煎茶の茶室で、竹のなげしなど東洋風のデザインが見られます。

聴松閣

ハーフチンバーの外壁など山荘風の外観をした迎賓館で、昭和12年に建築されました。地上三階の各室は各国様式がミックスされており、地階は全体がインド様式です。



北庭園

京都の修学院離宮の影響を受けたと考えられる池泉回遊式庭園です。山桜、新緑、紅葉、落葉と四季折々の景色が楽しめます。入口の橋の欄干、白雲橋の階段、伴華楼の腰壁などには五色玉石貼りが見られます。

北園(約6,500㎡)

南園(約2,700㎡)

※ 市指定文化財

揚輝荘座敷

大正8年、矢場町五ノ切にあった屋敷が移築されたもので、ベンガラ色の土壁と杉皮張りの腰壁には優雅な雰囲気が感じられます。(現在非公開)



南庭園

回遊式の枯山水石庭です。茶庭の遺構を巡る散策路には名石、奇石に加え、五輪塔、四方佛手水鉢、大灯籠などの石造物が配置されています。南端には当初からの築地塀が残されています。

聴松閣 平面図

- 常設展示エリア
- 企画展示エリア
- 管理エリア



地階ホール

留学生が描いた壁画が残されています。



休憩室

庭園をご覧いただきながら、お茶等(有料)をお楽しみいただけます。

多目的室

レリーフなどにインド様式の意匠が見られます。

展示室4

地域の歴史等について展示をしています。



展示室5,6,7

企画展示を行っています。展示室5では中国様式の意匠が見られます。



展示室1,2

映像やパネル、全盛期(昭和14年頃)の揚輝荘を再現したジオラマで、「揚輝荘」「伊藤次郎左衛門祐民」について紹介しています。



一階



テラス